

宮津湾のナマコ資源状況を調査

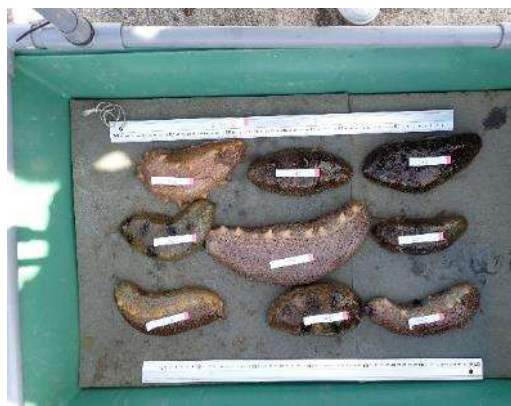
宮津湾のナマコ漁業では、資源を保護し持続的な漁業を達成するため、漁業者による自主的な資源管理が実施されています。当センターでは、資源管理に必要な資源状況調査を漁業者と共同で行い、得られたデータの解析結果から、より適切な資源管理方法を漁業者に提案しています。

令和 4 年度漁期(令和 5 年 2 月 1 日～3 月 16 日)終了後の 3 月 28 日に、当センター研究員が 5 隻の漁船に乗船し、ナマコの資源状況を調査しました。同調査結果から、調査時(漁期終了時)の資源量は約 25 トンと推定されました。漁期中の漁獲量は約 10 トンでしたので、初期資源量は約 35 トン、漁獲率(漁獲量÷初期資源量)は約 28%となります。漁獲率の値は当所が漁期前に提案した値(30%)以下であり、適切な漁業が実施されたと判断できました。

今後、データを詳細に解析し、令和 5 年度漁期の適切な資源管理策を漁業者に提案予定です。



資源状況調査で採捕されたナマコ



ナマコの測定